

未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員
指 導 課 特別指導員

岩波 英一

「理科室のおじさん」を尋ねて

その10 日立市立水本小学校



日立理科クラブ・山出 毅さん

水本小の「理科室のおじさん」山出 毅さんは、石川県金沢市の出身で、犀川の河口近くで生まれ育ったそうです。地元では蟹が名物で、小さい頃は、おやつ代わりに蟹を食べていたというから、今では、とても贅沢なことになってしまいましたね。

水本小では、中休みなどに子どもたちが、誘い合っけてスライム作りに理科室を訪れるそうです。私が訪問したときも、その時間にぶつかり、元気な子どもたちがスライム作りに夢中になっていました。子どもたちに、「どうやって作るのかな？」と質問をすると、「洗たくノリとホウ酸水を半分半分に混ぜて、絵の具で色を付けます。」と、自信をもって返答していました。「ぷよぷよして感触が面白い。」と、とても夢中になっていました。3, 4年生の理科の学習に山出さんが、授業支援で参加しているということから、

3, 4年生が多く集まってくるということでした。理科室の魅力を感じた子どもたちが多くなっていることに、「理科室のおじさん」の存在が大きいと思います。

理科室の整理ボックスを使いやすいものにしたりと、棚の敷板に、不要になった机の板を活用したりと、ちょっとしたアイデアを生かした工夫が施されていました。山出さんは、日製山手工場に勤務し、主に自家用発電設備の設計に携わっていたそうで、筑波の科学万博の折には、万博内のメカトロシステム設計チームに加わって作業をしていたと、その当時は懐かしそうに振り返りながらお話をしていました。趣味は囲碁で、日立市内の三段の部で優勝したこともあるそうでかなりの腕前と感じました。「サクラロードのハーフマラソンの部に今年出場します。」と、高校時代サッカー部に所属していたというスポーツマンの意気込みが表れていました。



「スライム作りの次は、ヘロンの噴水を子どもたちに広げようかな。」と、次へのステップを検討している顔に、笑顔が見えていました。



机を改良して棚板に

— 問い合わせ先 —

TEL 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230
IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954
E-mail: hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp
日立市郷土博物館 岩波 英一